

平成26年度

## 自己評価及び外部評価結果

### 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1492100092	事業の開始年月日	平成21年11月1日
		指定年月日	平成21年11月1日
法人名	株式会社メディカルケアシステム		
事業所名	グループホームちいさな手 鎌倉の杜		
所在地	( 247-0066 ) 鎌倉市山崎756-2		
サービス種別 定員等	<input type="checkbox"/> 小規模多機能型居宅介護	登録定員	名
	<input checked="" type="checkbox"/> 認知症対応型共同生活介護	通い定員	名
		宿泊定員	名
		定員計	18名
		ユニット数	2 ユニット
自己評価作成日	平成26年11月10日	評価結果 市町村受理日	平成27年4月21日

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先	<a href="http://www.rakuraku.or.jp/kaigo/w10/wp/Details.aspx?IGNO=ST1492100092&amp;SVCD=320&amp;THN0=14204">http://www.rakuraku.or.jp/kaigo/w10/wp/Details.aspx?IGNO=ST1492100092&amp;SVCD=320&amp;THN0=14204</a>
----------	---

### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

緑濃い山を背にした静かな環境に施設と感じさせないお洒落な建物の中で、毎日活気があり楽しみがある生活を送って頂けるよう自立支援に努めています。月2回の訪問診療、週1回の訪問看護を実施し病気の早期発見、早期治療を行い医療との連携も図っております。いつでもご家族様、お知り合い方近隣の方がお越いただけるような家庭的ホームです。入居者様、ご家族様にここで良かったと言って頂けるホームを目指しております。

### 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社フィールズ		
所在地	251-0024 神奈川県藤沢市鵜沼橋1-2-7 湘南リハウスビル4階		
訪問調査日	平成26年12月12日	評価機関 評価決定日	平成27年3月17日

### 【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

事業所は、湘南モノレール湘南町屋駅から徒歩10分ほどの住宅地にあり、後ろには山林があって、閑静で良好な環境です。明るく落ちついたお洒落な感じの2階建てのグループホームです。

<優れている点>

リビングや廊下などの共用空間は広めに設計されており、洗濯室や事務室、面談室などは独立しています。天井に近い上部の窓からは、吹き抜けを通して1階まで光が届き、採光面でも優れています。

入居者の笑顔が見られる生活の確保を目指して、職員同士が情報を共有し、連携してケアに当たっています。

家族は毎日2～3人から5～6人が訪問しており、家族と入居者および職員との交流が盛んです。事業所側でも日中は門扉を解放し、玄関を自由に開けられるようにしておくなど、家族や近隣の方が入りやすい環境を整えています。

<工夫点>

理念と行動規範とが書かれているカードを、職員は携行しています。理念については、ミーティングや引き継ぎの際に唱え、常に理念に添ったケアを行うように努力しています。

転倒が懸念される利用者の居室では、ベッドからの動線に添って背の高いイスを置き、つかまりやすく、転倒防止に役立っています。

### 【地域密着型サービスの外部評価項目の構成】

評価項目の領域	自己評価項目	外部評価項目
I 理念に基づく運営	1～14	1～7
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	15～22	8
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	23～35	9～13
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	36～55	14～20
V アウトカム項目	56～68	

事業所名	グループホームちいさな手 鎌倉の杜
ユニット名	1階

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1, ほぼ全ての利用者の 2, 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1, 毎日ある 2, 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ全ての家族と 2, 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ毎日のように 2, 数日に1回程度ある 3. たまに 4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1, 大いに増えている 2, 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
66	職員は、生き生きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1, ほぼ全ての職員が 2, 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての家族等が 2, 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどいない

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践に近づけている。	「愛・生きる喜び・快適な生活」の3Lの精神を理念とし、入居者様、スタッフひとりひとりの幸せが大きな幸せにつながるよう豊かな生活の実現に取り組んでおります。	事業所独自で「真心を込めて、ご入居者の笑顔のある生活と、ご家族の安心に貢献します」という理念を作っています。毎日の申し送りやミーティングの際には、理念と行動規範を読み、意識をもって行動するように心がけています。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	消防訓練には、近隣の方にお声掛けをして、地域の消防署にも参加して頂き、連携強化に努めています。小学校で行われる行事に積極的に参加しています。	地元の町内会に入会しており、地域の活動に参加しています。小学校の音楽発表会や子供会の運動会には、入居者と職員も見物に出かけています。近所の人々とは日常的に挨拶を交わし、避難訓練の際には近隣にも参加を呼びかけています。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	運営推進会議では、ご入居者様のホームでの暮らしをお話し地域での役割を話し合っており、認知症への理解を深めて頂いています。	/	/
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	ホームの現状を報告させて頂き御意見御指導を頂いております。小学校等で行われる行事等、ご入居者様が参加できる催しの情報を頂きレクリエーションに役立てています。	運営推進会議は2ヶ月に1度実施しています。市役所の担当者や地域包括センターの職員、介護相談員、民生委員、町内会長および家族などが出席しています。事業所から現状報告を行い、出席者から参考意見や提案を受け、運営の向上に役立てています。	
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる。	市の連絡会に参加し情報交換を行っています。市が開催するイベント（研修会）にも参加しております。	担当部署の鎌倉市役所いきいき課には管理者やケアマネージャーが訪問して、運営状況報告書などを提出するとともに、情報交換を行い、助言を受けています。電話やメールでも連絡を取っており、市が主催する研修会にも出席しています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	身体拘束の防止についてミーティング等で周知しています。地域の方が自由に入出入りして頂くため門扉を開放しておりますが、玄関の施錠はさせて頂いています。	身体拘束について定期的に内部研修を実施しており、市役所主催の講習会にも管理者が出席しています。拘束に当たると危惧される職員の言葉づかいには、その都度注意をしています。入居者が安全に暮らしていけるように見守りで支援しています。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	ミーティング等で虐待防止について周知徹底しており、今後も適時に指導を続けていきます。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	成年後見制度の活用の支援を行えるよう、今後も勉強する機会を設け、必要な場合は提案しています。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	入居相談時に当ホームの理念、方針、規約のご説明を事細かにしています。十分な説明をすることで疑問点をお互い確認し納得して頂き、契約を結んで頂いております。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	運営推進会議の場や、御家族様が来所された際に御意見、御要望をお伺いし運営に反映するよう努めております。	家族の訪問は毎日あり、多い時には5～6人の家族が訪れています。家族会は未結成ですが、訪問した家族からはその都度意見や要望を聞き、提案箱も設置しています。独自のアンケートも実施しており、家族の声を直接聞いて運営に役立てています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	月に1度のミーティングにて入居者様の状態、対応の仕方を話し合い意見を出し合っています。管理者自ら普段より意見を聞く姿勢で行っています。	月に1回スタッフミーティングを開催し、管理者と職員は意見交換をしています。フロアごとに開催されるミーティングには、出勤した職員全員が参加しています。管理者との個別面接もあり、意見を運営に反映させるように努めています。	スタッフミーティングには現在管理者と常勤職員だけが出席しています。パート職員もできればミーティングに参加して、意見を述べあう機会を持つことも期待されます。
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	○J Tを用いて個々の評価を行っています。代表者は常に人員体制の把握に努め、業務が円滑に行われているか環境整備に努めています。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	定期的な勉強会に参加し、再度ミーティングの時に内容を確認し、職員全員の介護技術向上に努めています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	市の連絡会にて、同業者の方々との交流を持ち意見交換や情報交換を行っています。		
<b>II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	実態調査を丁寧に行い、新しい環境の中にご入居者様が馴染める様、コミュニケーションを多く取り、良く傾聴してご本人の思いや不安を受け止め、安心して頂けるよう努めています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	ご入居者様の1日の様子をお知らせし、ご要望をお聞きしながら、お互いに話し合う事で良い関係、信頼関係を築けるよう努めています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	ご入居者様の今までの生活のご様子、ご性格、病状をお聞きし、必要なサービスを話し合いケアプランを作成しております。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	ご本人様のお気持ちを大切し、職員と一緒にホーム内の掃除、食事作り等をして頂き、感謝の言葉をお掛けし共に生活をしている関係を築いております。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	ご家族様とご本人様の関係を良く把握し、配慮しながらご家族様と共にご本人様を支えています。居室でご家族様だけで過ごされたり、リビングで他入居者様と過ごして頂き、ご家族様との絆を大切にしています。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	ご友人、ご親戚の来所、お電話の取次ぎや手紙での連絡等は自由にして頂いております。	友人や親せきの訪問の際には、入居者と話しやすいように配慮しています。また電話の取次ぎや手紙での連絡など、入居者ができるだけ外部の人と接するように支援しています。近くのコンビニには入居者が度々利用して、顔なじみになっています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	お一人お一人の心身状態や気分、感情の変化をみながら、興味を持っておられる事を把握し、職員が間に入りレクの参加を促して皆様で楽しめる時間を作っております。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	退所後の御家族様との積極的な交流は取れていない状況にあります。		
<b>Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	ご入居者様のご希望やご要望を普段の生活の中でお聞きし、無理のないケアプランを心掛けています。	入居者の思いや意向については「したいものは何か」「どこに行きたいか」など具体的な希望を聞き、実現に向けて支援しています。意思表示が難しい入居者もいますが、入浴や居室で職員と1対1になった時に、本音を聞き出すように努めています。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	これまでの生活歴、ライフスタイルをご家族様よりお伺いしております。介護サービスの有無等のお伺いし、ご本人様に合ったサービスの提供を行っております。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	バイタルチェック、食事量、水分量の確認、起床時間、睡眠時間などを記録し体調の様子を把握し、ご自分で出来ない事柄については支援させていただいております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。	ご入居者様の日常の様子を把握し、3ヶ月毎にケアカンファレンス、6ヶ月毎にケアプランの作成をスタッフ、医師、看護師の意見を取り入れながら、ご家族様にご説明をしております。	入居者の思いや要望を表示する「私をわかってシート」は居室担当者が記入し、介護計画作成の資料として使います。グループホーム計画書は、家族や職員、医師、看護師などの意見を参考に作成し、定期的に見直しを行っています。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	ケアプランに沿って日常の生活を過ごして頂き、体調や行動の変化の対応について申し送りノートに記入しスタッフ間で情報の共有をし見直しを行っております。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。	ご入居者様のご要望に沿うよう個別の対応を心がけております。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。	市の公園や県の植物園など外出レクに利用させて頂いております。地域のスーパー、コンビニへの買い物のレクの支援、ホームと近隣の方との挨拶の交流も楽しんで頂いております。		
30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。	月2回の提携医療機関の訪問診療を受けており、早期発見、早期治療に24時間の医療協力体制を取らせて頂いております。看護師、歯科医師の診療も週1回行っています。	かかりつけ医は、契約時に事業所の提携医療機関としています。本人や家族の要望により訪問マッサージ師が来ています。歯科は全入居者が年一回の診療と3ヵ月ごとに口腔ケアを実施しています。希望者は週1回の診療時に受けられます。	



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	ホーム専属の看護師により週1回の訪問看護を行い、24時間の音コールで密に連携をとっています。看護師との連携を取り心身のチェック、医療面のアドバイスを受け異常時には的確な指示の下、介護を行っています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	主治医、看護師との連携を図り病気や怪我の早期発見治療に努め、可能な限り長期入院を避けるようにしています。また、ご家族様と共に回復状況等の情報交換に努め、退院支援に結びつけています。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所のできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	ご入居時に看取りに関する指針をご説明し書面にて承諾を頂いております。段階ごとにご家族様、主治医、ホーム長、看護師、ケアマネージャーとの意向を確認しながら、対応方針の共有を図っています。	契約時に看取りの指針と看取り介護実施の定義の説明をして同意書を交わしています。また、様態に応じて再度同意書を交わし確認して対応をしています。事業所は看取りプランによって通常の支援をしています。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	緊急時マニュアルを作成しており、看護師、主治医と連携を取り迅速に的確な対応が出来るようにしております。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	消防隊員の指導の下、消防訓練を行っており、運営推進会議などで地域の方にも助言、ご指導を頂いています。	防災訓練の実施計画案は具体的に作成し、訓練は年2回、夜間と日中を想定して実施しています。2階の居室からは、広いベランダへ避難ができます。	地域住民との連携について運営推進会議で議題にあげ、具体的な支援について話し合うことが期待されます。また、実施後の振り返りを記録に残し、次回の防災訓練に反映して行くことも期待されます。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	常に敬意を払い、お一人お一人のその時の状況やお気持ちを大切に考え、生活スタイルや個性を踏まえながら、親しみを持って頂ける言葉かけや、安らぎを感じて頂ける対応をさせて頂いております。	職員の言葉や態度などが不適切な対応の時はその場で注意を促しています。常勤者にはケアの心構えなどについて内部研修をしています。また、管理者はリスクマネジメントについて月1回のミーティングで職員に伝えています。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	本人の思いや希望を大切にし、会話の中で感じ取り、ご本人にとって何が必要かを考え、自己決定できるようお一人お一人にあった形でいつでもお気持ちを伝えやすい雰囲気づくりと、答えを引き出せるような言葉かけを心掛けております。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	体調に配慮しながら、ご本人様のお気持ちを尊重して、できるだけ個別性のあるその方らしい日々を送って頂けるよう支援を行っています。お気持ちに寄り添う事を大切に、無理な事なせず出来る事から支援しています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	お洋服は、基本的にご本人様の意向で決めて頂き、見守りや支援が必要な時に手伝うようにしております。その方の生活スタイルを大切にしております。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	野菜の皮むき、味見、テーブル拭き等をお手伝いして頂き、職員とテーブルを囲んで会話しながら、楽しく食事できるように雰囲気づくりを大切にして食事をしております。	献立や食材は業者委託です。職員が調理を担当し、調理の下準備にジャガイモなどの皮むきや下膳など、できることをしています。食事中は音楽を流し職員と一緒に食べています。行事食や時には喫茶店に出かけて食の楽しみを支援をしています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。	1日に必要とされる水分摂取量や食事量の摂取の留意点などを把握して、小まめにチェックと支援を行い記録をしています。医師、看護師と相談をしながら必要に応じ刻み、ミキサー、水分量等の対応をしています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。	歯科診療でのご指導を参考にしながら、口腔内の清潔を保つ事が出来る様、状態に合わせて毎食後歯ブラシ・ガーゼ等を使用して支援をさせて頂いております。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。	排泄パターンを確認しながら、その日の体調やご気分添って、声掛けトイレ誘導を行い、トイレで排泄出来るよう支援させて頂いております。	排泄はトイレ支援をしています。介護度が上がり認知症の症状も重くなると、誘導の声掛けやトイレ内の見守りの基本的介助から、さらに丁寧な個別対応の支援を心がけています。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。	便秘の様子を把握し、医師、看護師と相談しています。小まめな水分摂取をして頂けるよう声掛けや飲み物を工夫したり、お散歩や歩行運動を積極的に行い便秘予防に努めています。看護師の指導の下、腹部マッサージも行っています。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている。	生活リズムや体調が崩れないよう、お一人お一人の体力、体調に合わせて適度な休息を取って頂いたり、日中は散歩や外気浴で適度な運動や気分転換をはかり、夜間に十分な睡眠を取って頂けるように支援しております。	入浴は週3回、火・木・土曜日の、午前中から14時ごろまでに入っています。1対1の対応で入浴介助をし、その都度湯を入れ替えています。1階の浴室は、最新の機械浴槽を設置しています。体調に応じて清拭や足浴をしています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。	生活リズムや体調が崩れないよう、お一人お一人の体力、体調に合わせて適度な休息を取って頂いたり、日中は散歩や外気浴で適度な運動や気分転換をはかり、夜間に十分な睡眠を取って頂けるように支援しております。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	薬局より薬を受け取る際には、必ず薬剤指導を受け、薬剤情報を職員全員が共有しております。看護師指導の下、服用時、服薬後の様子に留意しております。服薬時には複数の職員で薬袋の氏名・日時を確認し、服薬ミス防止を徹底しております。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。	野菜の皮むき、お茶入れ、テーブル拭きのお手伝いをして頂き、出来る範囲での役割分担をきめさせて頂いております。その人らしく生き生きと楽しく毎日を過ごして頂けるように支援しております。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	天候の良い日には、ご入居者様のご希望を伺ったり、職員から声掛けをさせて頂き、ホーム周辺や近所の公園まで散歩したり、近くのコンビニへの買い物に同行させて頂いております。	「散歩状況チェック表」で入居者の外出状況を把握し、事業所周辺や近所の児童公園へは、職員一人と入居者二人で出かけています。近所のコンビニや、家族とも一緒に外出しています。外出行事は年2回あり車で海沿いのドライブや初詣へ出掛けています。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	お金は原則として所持されていませんが、ご家族様より了解を頂いてご入居者様がお好きな物をご自分で買い求め出来るよう職員が付き添って行き、立て替えさせて頂いております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	ご本人様のご希望や御家族様のご理解の下お取次ぎをさせて頂いています。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	共用部分は毎日掃除をし、空調に気を配り、快適に過ごして頂けるように努めております。季節ごとに玄関や中庭の花壇の草花を替えたり、ディスプレイを工夫する等して、ご入居者様、ご家族様に季節感のある快適な空間となるよう心掛けています。	建物は天窓から光がさし室内はモダンな設計です。一階の広いウッドデッキは季節によりお茶や弁当をひろげて楽しんでいます。鉢物や生花を掛け、広いガラス窓とペーじュの壁には絵画や行事写真が配置良く掲示され穏やかな居住環境です。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	リビングは常に開放し、共用のテレビを利用出来ます。皆さんで雑談したりと自由に過ごす事の出来る空間を大切にしています。リビングで新聞をゆっくり読まれたりソファでテレビをご覧になられたりと思い思いに時間をお過ごし頂いています。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	自宅で使用していた家具等を居室に設置して頂けるなど、環境の変化がもたらす影響を極力抑える工夫を行っております。食器やお箸の日用品や洋服等、ご入居者様が馴染んでいるものを使用頂き安心して暮らせるよう支援しています。	写真やテレビ、馴染みの家具などを配置し、落ち着いた居室です。リクライニングベットが置かれ、動線に沿って椅子を配置し転倒予防の工夫をしている部屋もあります。居室担当者はシフト制で掃除・クローゼットの整理、入居者の様子を把握しています。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	居室内は状態に合わせて怪我や転倒を防止する工夫をしております。ベッドの高さや椅子の高さなど安全に立位できる高さに設置し転倒防止に努めています。プライバシーに配慮しながら、介護職員の目が届くよう工夫しております。		

事業所名	グループホームちいさな手 鎌倉の杜
ユニット名	2階

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者の 2, 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	<input type="radio"/>	1, 毎日ある 2, 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての家族と 2, 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	<input type="radio"/>	1, ほぼ毎日のように 2, 数日に1回程度ある 3. たまに 4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	<input type="radio"/>	1, 大いに増えている 2, 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての職員が 2, 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての家族等が 2, 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどいない

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	「Love、Live、Life…愛・生きる喜び・快適な生活」この3Lの精神を介護理念とし、入居者様、スタッフひとりひとりの幸せが大きな幸せにつながり、豊かな生活の実現に至る様、日々取り組んでおります。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	ご近所の皆様へのご挨拶を心がけ、消防訓練にはお声をかけてさせて頂いております。ボランティアの皆様による定期的なレクリエーション、小学校の音楽会にお招きして頂くなど、地域の方々からもご支援を頂いております。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	運営推進会議などで、ご入居者様の日常を報告し、認知症への理解を深めて頂くとともに、地域内での役割についても話し合っていきたいと考えております。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	2カ月に1回、運営推進会議を開催し、事業所の現状報告、情報の交換を行い、ご意見、ご指導を頂いております。		
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	市の連絡会に参加しており、積極的に講習会にも出席する様、努めております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	ご家族様、地域の方に自由に出入りして頂くために、門扉を解放しましたので、玄関の施錠はさせて頂いておりますが、各居室は自由の出入り出来る構造になっており、身体拘束をしない介護を実践しております。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	虐待に関しては日常での業務及びミーティングの場などで、防止策を考じ、指導を徹底しております。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	成年後見制度の活用支援を行えるよう、今後も研修会に参加し情報の収集に努めてまいります。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	ホームページ上やパンフレットに当事業所の理念を記載するとともに、入居相談時に方針・規約についてもご説明をし、納得を頂いた上で契約を結んで頂いております。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	運営推進会議の場や、ご家族様が来所された際にご入居者様の現状を報告し、その際にご意見、ご要望を伺っております。また要望により「ご意見箱」を設置し、改善に必要な情報の収集に努めております。		



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	毎月のスタッフミーティング、必要に応じたフロアミーティングを開催し、情報の共有・周知、意見交換の場を持ち、運営改善に努めております。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	就業規則に基づいて勤務し、人員体制を手厚くする事で日々の業務を確実・丁寧に実践出来る様、環境の整備に取り組んでおります。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	定期的な勉強会に参加し、ミーティングの際、その内容を確認、周知しスタッフ全員の介護技術の向上に努めております。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	市の連絡会や講習会に参加する事により、同業者との交流や情報交換を実践しております。		
<b>II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	新しい環境に、ご入居様が早くなじめる様、コミュニケーションを多くとり、不安を取り除いて頂く様、努めております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	ご入居者様の1日のご様子を詳細に記録、その内容をお知らせし、ご要望を伺いながら信頼関係を築き、安心して頂ける様、努めております。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	ご入居者様の今までの生活環境や、ご性格、既往歴を把握し、必要なサービスを話し合い、ケアプランを作成、実践しております。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	ケアプランに基づき、施設内の清掃、食事作りなどをスタッフと一緒にさせて頂き、感謝の言葉をおかけし、共に協力して生活をしている関係を築いております。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	毎月、広報誌と日常のご様子を記した一筆書きを発送し、ご入居者様の近況をお伝えするとともに、ご家族様にもレクリエーションに参加して頂いたりする事で、ご家族様との絆を深めて頂ける様、努めております。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないう、支援に努めている。	ご友人、ご親戚が訪ねて来て下さいます。またお電話の取次ぎなど、制限を設けず自由に行って頂いております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	一人ひとりの趣味、世代別の話題・興味を把握し、スタッフが間に入りレクリエーションの参加を促し、孤立せずに皆様に楽しめる時間、環境を作っております。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	退所後のご家族様との交流は事業所側として、積極的にはおりませんが、時折、ご家族様から来所されたり、ご連絡を下さり近況をお知らせ頂いております。		
<b>Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	ご入居者様のご希望、ご要望を生活の中でお聞きし、ケアプランに取り入れております。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	ご入居時、ご本人様と、ご家族様より、これまでの生活の様子、環境をお伺いしております。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	バイタルチェック、食事量、水分摂取量の集計確認及び、排便、排尿回数・状態、睡眠時間を記録し、申し送りを徹底する事でご入居者様の心身状態の把握に努めております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。	ご入居者様の日常のご様子を把握し、3ヶ月毎にケアカンファレンス、6ヶ月ごとにケアプランの作成をスタッフ、医師、看護師の意見を取り入れながら、ご家族に説明を行っております。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	ケアプランに沿って日常を過ごして頂き、体調や行動の変化、言動などを「個人記録」「申し送りノート」に記入し、スタッフ間で情報の共有をし、見直し、支援方法の改善に反映させております。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。	ご入居者様の意思を尊重し、ご希望に沿うような個別対応を心がけております。またそのためのツールを増やす様、情報を収集しております。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。	近隣の植物園や公園へ外出するレクリエーションを実施したり、ご希望があれば地域の大型店舗、コンビニへの買物に外出し、散歩の際には近所のお子様との交流を積極的に行っております。		
30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。	提携医療機関による隔週の訪問診療を実施しており、24時間の医療協力体制をしいて病気の早期発見、認知症状の進行に伴う事故やBPSDへの対応に努めております。また、看護師、歯科医師の診療も週1回行っております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	週1回の訪問看護を行い、看護師との連携を密にとり、心身のチェック、医療面でのアドバイスを受け、体調変動時には適格な指示のもと、介護支援を行っております。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院の際には医療機関、ご家族様との情報交換及び、連携を強化し、出来る限りの早期退院、退院後の受入体制の整備を図っております。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所のできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	ご入居時に看取りに関する指針をご説明し、段階に応じてご家族様、施設長、医師、ケアマネージャー間で方針を決め、同意を頂いた内容に基づき、日常の支援を行っております。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	緊急時マニュアルを作成し対応を行っております。異変があった際には看護師、医師と速やかに連携し、状況に応じた対応を行っております。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	毎日、消防・避難誘導設備の点検を実施し、消防職員の指導のもと、年2回の避難訓練を行っており、運営推進会議などでも情報交換を行ない、災害発生時に備えております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	お一人ひとりの生活スタイル、その日の体調を考慮し、適格な言葉かけや、安心して生活して頂ける対応を心がけております。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	ご入居様の心情に時間をかけて耳を傾け、出来る限りご本人の意思を尊重する事により、自己決定を支援しております。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	毎日、皆様のご意見を尊重しながらレクリエーションの内容を決めたり、お一人ひとりの生活スタイルを考慮、尊重する事を第一とし、皆様が快適に過ごして頂ける様、工夫・支援を行っております。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	季節に合わせた身だしなみを支援するとともに、ご入居者様と一緒に服を選ぶなど、個人の好み、自主性を尊重して支援を行っております。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	ご入居者様の得意な事を把握し、自主性を引き出した上で食材の下ごしらえや、盛り付け、配膳、後片づけ等をスタッフと一緒に行って頂いております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。	食材は毎日委託業者から配送され、管理栄養士の作成した献立を、ご利用様と一緒に調理し提供しております。また看護師の指示のもと、各個人のADLに応じた食事形態に加工を行い提供を行っております。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。	毎食後、お一人ひとりに状態に応じた、口腔ケアの支援を実施しております。また、就寝前には義歯をお預かりして洗浄剤に浸け清潔の保持に努めております。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。	排泄パターンの確認を行い、定期的なトイレ誘導の実施、ご様子を見てお声掛けによるトイレ誘導を行い、尿とりパットやリハビリパンツの交換を行い、清潔の保持に努めております。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。	毎日、便通を記録し、看護師指導のもと水分摂取量や下剤調整を行い排泄を支援しております。また日々の生活の中で、こまめな水分摂取と適度な運動を心がけ、便秘予防に取り組んでおります。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている。	基本的に週3回の入浴支援を行っております。ご入居者様のご希望に沿ってお声掛けをし、入浴する順番や入浴時間・事故防止に配慮しております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。	生活リズムや体調に変化に考慮し、お一人ひとりに合わせた休息時間を取って頂いたり、日中はレクリエーションや散歩で気分転換をはかり、夜間に十分な睡眠を取って頂ける様、支援を行っております。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	提携薬局より薬を受取る際には、薬剤指導を受け、薬剤情報をスタッフ全員が共有しております。服薬支援時には複数のスタッフで薬包の氏名、日時を確認し、服薬事故防止を徹底しております。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。	ご入居様様の性格や得意な事を把握し、調理の手伝いや、掃除、洗濯物のお畳み、植木の水やり、献立の記入など、その方の能力を活かし、皆様の役に立って頂く事で、生活に張り合いと喜びを持って頂ける様、支援を行っております。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	天気の良い日には施設周辺を散歩したり、近所のコンビニへの買物に同行させて頂いております。また管理表をつくり、個人差のない外出支援の提供を心がけております。		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	原則として、金銭は個人では所持していませんが、ご家族様の了解のもと、立て替えをさせていただき、お好きな物をご自身で購入して頂いております。		



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	ご本人の希望があるときは、電話の取次ぎを行っております。携帯電話をお持ちのご入居者様もおられ、ご自由にご家族様と連絡をされておられます。また、ご家族様やご友人宛に私信の葉書や年賀状を書かれる方もいらっしゃいます。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	大きな窓ガラス、高い天井を採用し開放的な居住空間を提供しております。共用部の清掃を徹底し、以前開催した行事の写真を掲示したり、花を飾るなど行い、快適な空間の演出に努めております。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	リビングにてご家族様や、ご入居者様同士お話されたり、本や新聞を読まれたり、ソファでテレビをご覧になられたり、中庭のウッドデッキで外気浴、合唱レクをされたり、1階と2階のご入居者様の交流もあり、思い思いに過ごして頂いております。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	ベッド、クローゼットは施設備品ですが、その他の家具はご本人様の愛着のあるものを使用して頂き、刺繍や書画、ご家族様との写真を飾られたりと、各室ごとに居心地良く安全な空間の配置を心掛けております。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	居室やトイレが分からなくなるご入居者様のために表札を掲示したり、状態に合わせて離床センサーを導入しプライバシーを尊重した上で、怪我や転倒防止の工夫を行っております。		

平成26年度

### 目標達成計画

事業所名 グループホームちいさな手 鎌倉の杜

作成日： 平成 27年 4月 21 日

#### 【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1		入居者様のADLの低下と共に職員の人員に余裕がなく外出地域活動への参加が難しくなって来ている。	地域活動への参加、外出レクリエーションの回数を多くする。	人員の確保・ご家族様への参加の呼びかけをする。	6ヶ月
2					ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月